

操作ガイド

LG デジタル サイネージ

(サイネージモニター)

このたびはLGサイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、

ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

webOS 2.0

目次

3 ユーザー設定

- 3 メインメニューの設定
- 3 - 映像設定
- 8 - 音声設定
- 9 - ネットワーク設定
- 12 - 機器設定

14 エンターテインメント

- 14 [マイメディア]の使用
- 14 - USB/SD記憶装置の接続
- 16 - [マイメディア]でサポートされているファイル
- 19 - 動画の視聴
- 21 - 写真の表示
- 21 - 音楽の再生
- 21 - 設定
- 22 - ファイルの移動、コピー、削除
- 22 SuperSignコンテンツ
- 22 情報
- 23 ローカルコンテンツスケジュール
- 24 Screen Share
- 26 SuperSign EZ
- 28 マルチ画面
- 29 映像IDの設定

30 IRコード

32 複数のモニターを制御するには

- 32 ケーブルの接続
- 33 通信パラメータ
- 34 コマンドリファレンスリスト
- 37 送受信プロトコル

この製品に含まれるGPL、LGPL、MPLのソースコード、およびその他のオープンソースのライセンスを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご覧ください。

ソースコードに加えて、言及されているすべてのライセンス条項、免責条項、および著作権に関する通知もダウンロード可能です。

LG Electronicsでは、ソースコードを収録したCD-ROMを有償（CD-ROM代、送料、取扱手数料など含む）にて提供しています。ご希望される場合は、opensource@lge.comまで電子メールでご連絡ください。このサービスは、製品をご購入いただいた日から3年間決定です。

✔ ヒント

- ソフトウェアに関連する内容は、製品の機能をアップグレードするために事前の通告なしに変更されることがあります。
- モデルによっては、設置マニュアルに記載されている機能をサポートしていない場合があります。
- 本製品はSNMP2.0をサポートしています。

ユーザー設定

メインメニューの設定

映像設定

映像モードを選択するには

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [映像モードの設定] → [映像モード]

動画のタイプに最適な映像モードを選択します。

- [あざやか]：[コントラスト]、[明るさ]、[シャープネス]を高めることによって、小売環境用にビデオ映像を調整します。
- [標準]：標準的環境用にビデオ映像を調整します。
- [APS]：画面の明るさを調整して、電力消費量を減らします。
- [シネマ]：映画の視聴に合わせてビデオ映像を最適化します。
- [スポーツ]：スポーツ観戦に合わせてビデオ映像を最適化します。ボールのキックやスローなどのすばやい動作も画面上で明瞭に表示されます。
- [ゲーム]：ゲームのプレイ用にビデオ映像を最適化します。
- [写真]：写真表示用に画面を最適化します。（この機能は特定のモデルでのみ使用可能です）。
- [エキスパート]/[キャリブレーション]：エキスパートまたは高品質な映像に関心のある方なら誰でも、最適な映像品質になるように手動で映像を調整できます。

✔ ヒント

- 入力信号によっては、使用可能な[映像モード]が異なる場合があります。
- [エキスパート]は、映像品質のエキスパートが特定の映像を使用して映像品質を微調整できるオプションです。したがって、標準的な映像では効果がない場合もあります。

映像モードを微調整するには

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [映像モードの設定] → [カスタマイズ]

- [バックライト]：LCDバックライトを制御して、画面の明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [コントラスト]：映像の明るい領域と暗い領域の差を調整します。値が100に近づくほど、差が大きくなります。
- [明るさ]：画面の全体的な明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [シャープネス]：オブジェクトのエッジのシャープネスを調整します。値が50に近づくほど、エッジが鮮明でシャープになります。
- [水平シャープネス]：水平の視点から画面のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [垂直シャープネス]：垂直の視点から画面のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [色の濃さ]：画面の色合いを柔らかく、または深くします。値が100に近づくほど、色が濃くなります。
- [色合い]：画面に表示される赤レベルと緑レベルのバランスを調整します。赤の値が50に近づくほど濃い赤になり、緑の値が50に近づくほど濃い緑になります。
- [色温度]：画面の色合いを温かみ、または冷涼感を感じるように調整します。
- [詳細設定]/[プロ設定]：詳細オプションをカスタマイズします。
 - [ダイナミックコントラスト]：映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を最適化します。
 - [超解像]：映像のぼやけた部分や不明瞭な部分をシャープにします。
 - [色域]：表示する色の領域を選択します。
 - [ダイナミックカラー]：よりあざやかで明るい表示になるように映像の色合いと彩度を調整します。
 - [輪郭補正]：映像の輪郭が大幅に鮮明かつシャープになります。
 - [カラーフィルター]：RGB空間の特定の色領域にフィルターを適用して、色の濃さと色合いを正確に調整します。
 - [色補正]：好みに合わせて肌の色合い、草木の色合い、空の色合いを調整します。
 - [ガンマ]：画像の中間の明るさを調整します。
 - [ホワイトバランス]：好みに合わせて映像全体の色合いを調整します。[エキスパート]モードでは、[Method (メソッド)] オプションまたは[Pattern (パターン)] オプションを使用して映像を微調整できます。
 - [カラーマネージメント]：エキスパートは、テストパターンを使用して色の濃さを調整する際、この機能を使用します。カラーマネージメントでは、他の色に影響を及ぼすことなく、6種類の色空間（赤/黄/青/シアン/マゼンタ/緑）から選択することで調整できます。調整後も、通常の映像で色合いの変化がわからないことがあります。

- [映像オプション]：映像オプションをカスタマイズします。
 - [ピクチャーノイズリダクション]：映像を明瞭にするため、不規則に生成された小さな点を除去します。
 - [MPEGノイズリダクション]：デジタルビデオ信号の生成中に生じたノイズを減少させます。
 - [黒レベル]：映像の明るさとコントラストを修正するために、映像の黒レベルを調整します。
 - [リアルシネマ]：映画のような画像にビデオ映像を最適化します。
 - [TruMotion]：動いている映像に起きる映像の揺れや残像を低減します。
- [初期化]：映像の設定を初期化します。

✔ ヒント

- 詳細設定は、[ユーザー設定]モードでのみ調整できます。
- 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能なオプションが異なる場合があります。

画面サイズを設定するには

(モデルによっては、一部の機能がサポートされていない場合があります。)

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [画面サイズ]

映像が最適なサイズで表示されるように画面サイズを変更します。

- [16:9]：16:9の画面サイズで映像を表示します。
- [ジャストスキャン]：映像の端を切り取らずに元のサイズで表示します。
オリジナルはHDMI (720p以上) モードで使用可能です。(58:9モデルでは、入力信号に関係なくこのオプションを選択できます。)
- [プログラム]：入力ビデオ信号に応じて、自動的に画面サイズを4:3または16:9に変更します。
- [4:3]：4:3の画面サイズで映像を表示します。
- [ズーム]：映像を画面の幅に合わせて拡大します。映像の上下端が切り取られることがあります。
- [シネマズーム]：歪みなく、2.35:1のシネマスコープ比で映像を拡大します。
- [58:9]：58:9の画面サイズで画面を表示します。

✔ ヒント

- 画面に同じ画像を長時間表示すると、その画像が画面に焼き付き、画面の外観が永続的に損なわれます。この「映像の焼き付き」または「焼き付き」は、保証対象外となります。
- 画面サイズを長時間[4:3]に設定していると、画面のレターボックス領域で映像の焼き付きが発生する場合があります。
- オプションはモデルによって異なります。
- 入力信号に応じて、使用可能な画面サイズが異なる場合があります。
- PCをHDMI、DisplayPort、OPS接続した場合、DVI-D、アナログRGBで接続した場合、画面サイズは[4:3]または[16:9]のみ設定できます。(これは、58:9モデルには適用されません)
- [ズーム]または[シネマズーム]を調整する際に、入力信号によって画面がちらつくことがあります。

[映像省エネ設定]機能を使用するには

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [映像省エネ設定]

画面の明るさを調整して、電力消費量を減らします。

- [自動]：周囲の照明に応じてモニターの明るさを調整します（この機能は特定のモデルでのみ使用可能です）。
- [オフ]：映像省エネ設定モードを無効にします。
- [最小]/[中]/[最大]：モニターに指定された映像省エネ設定レベルに応じて、映像省エネ設定を使用します。
- [映像オフ]：画面をオフにします。音声のみが聞こえます。POWERボタン以外の、リモコンの任意のボタンを押すと、再び画面をオンにできます。

[スマート省エネモード]機能を使用するには

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [スマート省エネモード]

消費電力を節約するために、映像の明るさに従ってモニターの明るさが自動的に調整されます。

- [しない]：[スマート省エネモード]機能を無効にします。
- [する]：[スマート省エネモード]機能を有効にします。

[画面（RGB - PC）]機能を使用するには

（適用モデルは限定されます。）

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [画面（RGB - PC）]

RGBモードでPCディスプレイオプションをカスタマイズします。

- [自動で設定]：画面の位置、時刻、およびフェーズを自動的に調整するために設定します。
自動画面調整の実行中は、表示される映像が数秒間不安定になります。
- [解像度]：適切な解像度を選択します。
- [位置]/[ポインターサイズ]/[フェーズ]：自動調整後の映像が鮮明でなく、特に文字が揺れている場合は、これらのオプションを調整します。
- [初期化]：オプションをデフォルト設定に戻します。

映像テストを実行するには

(適用モデルは限定されます。)

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [映像テスト]

映像テストを実行して、映像の信号が正常に出力されていることを確認し、その後、画面上の関連するオプションを選択することによって問題を解決します。テスト映像で問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

HDMI 4K ディープカラーの使用方法

[Ultra HDモデルのみ]

SETTINGS → [詳細設定] → [映像] → [HDMI 4K ディープカラー]

HDMIデバイスをいずれかのディープカラー調整可能ポートに接続すると、[HDMI 4K ディープカラー]設定メニューから、[ディープカラーする(6G)]または[しない(3G)]を選択できます。

映像が3840 x 2160 @ 60 Hzで出力されているとき、[ディープカラー]が[する]になっていると、グラフィックカードと互換性に問題が発生することがあります。その場合は、[ディープカラー]の設定を[しない]にしてください

- HDMIの仕様は、入力ポートによって異なる場合があります。接続する前に、デバイスごとの仕様を確認してください。
- 60 Hz (4:4:4、4:2:2) の4KでHDビデオを楽しむには、HDMI入力ポート1、2が最適です。ただし、外部デバイスの仕様によっては映像または音声をサポートされていない場合があります。その場合は、別のHDMIポートに接続してください。

音声設定

- 適用モデルは限定されます。

サウンドモードを選択するには

SETTINGS → [詳細設定] → [音声] → [サウンドモード]

現在視聴している動画のタイプに応じて、最適な音声品質が自動的に選択されます。

- [標準]：このサウンドモードはすべてのタイプのコンテンツで良好に動作します。
- [シネマ]：映画の視聴に合わせて音声を最適化します。
- [ニュース]：ニュースの視聴に合わせて音声を最適化します。
- [スポーツ]：スポーツ観戦に合わせて音声を最適化します。
- [音楽]：音楽の再生に合わせて音声を最適化します。
- [ゲーム]：ゲームのプレイに合わせて音声を最適化します。

[サウンド効果]機能を使用するには

SETTINGS → [詳細設定] → [音声] → [サウンド効果]

- [クリアーボイス II]：3レベルの調整で、よりクリアな音声を楽しめます。
- [イコライザー]：イコライザーを使用して音声を手動で調整します。
- [バランス]：左側のスピーカーと右側のスピーカーの出力音量を調整します。
- [初期化]：音声の設定を初期化します。

音量コントロールを選択するには

SETTINGS → [詳細設定] → [音声] → [音量調整単位]

[低]/[中]/[高]のいずれかを選択して、音量の範囲を設定できます。

音声と動画を同期するには

SETTINGS → [詳細設定] → [音声] → [AVシンク]

- [スピーカー出力]：デジタル音声出力ポート、LGオーディオ機器、またはヘッドフォンに接続されたスピーカーなど、外部スピーカーからの音声と動画の同期を調整します。値がデフォルト値から[-]に近づくほど音声出力は高速になり、値が[+]に近づくほど音声出力は低速になります。
- [バイパス]：遅延なく外部デバイスからの音声を出力します。モニターに入力された動画の処理に時間がかかるため、音声は動画より先に出力される場合があります。

音声テストを実行するには

SETTINGS → [詳細設定] → [音声] → [音声テスト]

音声テストを実行して、音声の信号が正常に出力されていることを確認し、その後、画面上の関連するオプションを選択することによって問題を解決します。音声テストで問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

ネットワーク設定

Signage Monitor名を設定するには

SETTINGS → [詳細設定] → [ネットワーク] → [サイネージ名]

オンスクリーンキーボードを使用して、ネットワーク上で使用するSignage Monitorの名前を設定できます。

有線ネットワークを設定するには

SETTINGS → [詳細設定] → [ネットワーク] → [有線接続] (イーサネット)

- [有線ネットワークへの接続]：LANポートを使用してモニターをローカルエリアネットワーク (LAN) に接続し、ネットワーク設定を行います。有線ネットワーク接続のみがサポートされています。物理的接続の確立後、一部のネットワークで、ディスプレイのネットワーク設定の調整が必要になる場合があります。大半のネットワークでは、調整なしで自動的にディスプレイの接続が確立されます。詳細については、インターネットプロバイダーに問い合わせるか、ルーターのマニュアルを参照してください。

無線ネットワークの設定

SETTINGS → [詳細設定] → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]

モニターをワイアレスネットワーク用に設定すれば、利用可能な無線インターネットネットワークを確認して接続することが可能です。

- [非表示の無線ネットワークを追加]：ネットワークの名前を直接入力すれば、無線ネットワークを追加できます。
- [PBCで接続]：PBCをサポートしている無線APのボタンを押して簡単に接続できます。
- [PINで接続]：接続先の無線APの構成WebページにAPのPINを入力すると、簡単に接続できます。
- [詳細設定]：ネットワークの情報を直接入力すれば、無線ネットワークに参加できます。利用可能な無線ネットワークが表示されていない場合は、[詳細設定]をクリックしてください。ネットワークを追加できます。

SoftAPのセットアップ

SETTINGS → [詳細設定] → [ネットワーク] → [SoftAP]

SoftAPをセットアップすると、多くのデバイスを実無線ルーターなしで無線ネットワーク接続を介して接続し、無線インターネットを使用できます。

- SIGNAGEを使用するには、インターネット接続する必要があります。
- SoftAP機能とScreen Share機能を同時に使用することはできません。
- Wi-Fi Dongleがサポートされているモデルでは、Wi-Fi Dongleを本製品に接続しているときのみ、SoftAPメニューは使用できます。
- SoftAP接続情報
 - SSID：無線インターネット接続に必要な一意の識別子
 - セキュリティキー：目的の無線ネットワークに接続するために入力するセキュリティキー
 - 接続デバイスの数：無線ネットワーク接続でSignageデバイスに現在接続されているデバイスの数を表示します。最大10個のデバイスがサポートされています。

ネットワーク設定のヒント

- このディスプレイでは標準のLANケーブル（RJ45コネクタ付きのCat5以上）を使用してください。
- 設定時に生じたネットワーク接続の問題の多くは、ルーターまたはモデムをリセットすることで修正できます。ディスプレイをホームネットワークに接続した後、すばやく、ホームネットワークルーターまたはケーブルモデムの電源をオフにするか電源ケーブルを抜き、その後再度、電源をオンにするか電源ケーブルを接続します。
- インターネットサービスプロバイダー（ISP）によっては、インターネットサービスを受けることのできるデバイス数が、適用されるサービス条件によって制限されている場合があります。詳細については、ISPに問い合わせてください。
- LGは、インターネット接続またはその他の接続機器に関連する通信エラーや不具合が原因で生じた、ディスプレイやインターネット接続機能の誤作動の責任は負いません。
- LGは、インターネット接続での問題の責任は負いません。
- アクセスするコンテンツの要件をネットワーク接続速度が満たしていないと、期待どおりの結果が得られない場合があります。
- インターネット接続を提供するインターネットサービスプロバイダー（ISP）が設定している特定の制限が原因で、一部のインターネット接続操作を実行できない場合があります。
- ISPによって請求される料金（接続料を含みますが、これに限定されません）は、ユーザーの負担となります。

ヒント

- ディスプレイでインターネットに直接アクセスする場合は、インターネット接続を常にオンにする必要があります。
- インターネットにアクセスできない場合は、ネットワーク上のPCでネットワーク状態を確認します。
- [ネットワーク設定]を使用する場合は、LANケーブルを確認するか、ルーターのDHCPがオンになっていることを確認します。
- ネットワーク設定を完了していない場合は、ネットワークが適切に機能しない場合があります。

注意

- モジュラー電話ケーブルをLANポートに接続しないでください。
- さまざまな接続方法があるため、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダーの規定に従ってください。
- [ネットワーク設定]メニューは、ディスプレイが物理ネットワークに接続されるまで使用できません。

無線ネットワーク設定のヒント

- 無線ネットワークは周波数2.4 GHzで動作している他のデバイス（ワイヤレスフォン、Bluetooth デバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。また、他のWi-Fiデバイスと同様に、5 GHzの周波数を使用するデバイスにより干渉を受ける可能性もあります。
- 周囲の無線環境によって無線ネットワークサービスの動作が遅くなることがあります。
- ローカルホームネットワーク全体をオフにしていない場合、一部のデバイスでネットワークトラフィックが発生することがあります。
- AP接続の場合は、無線接続をサポートするアクセスポイントデバイスが必要です。また、無線接続機能をデバイスで有効にする必要があります。ユーザーのアクセスポイントで無線接続を利用できるかどうかについては、サービスプロバイダーに問い合わせてください。
- AP接続について、SSIDとAPのセキュリティ設定を確認してください。SSIDとAPのセキュリティ設定については、該当するマニュアルを参照してください。
- ネットワークデバイス（有線/無線回線共有、ハブ）の無効な設定により、モニターの動作が遅くなる場合や、正しく動作しない場合があります。適切なマニュアルに従ってデバイスを正しく取り付けて、ネットワークを設定してください。
- 接続方法は、APメーカーによって異なることがあります。

機器設定

言語を設定するには

SETTINGS → [詳細設定] → [機器設定] → [メニュー言語]

画面に表示されたメニューの言語のいずれかを選択します。

- [メニュー言語]：Signageの言語を設定します。

キーボード言語のセットアップ

SETTINGS → [詳細設定] → [機器設定] → [キーボード言語]

キーボードに表示したい言語を選択します。

- [キーボード言語]：キーボード言語を設定します。

時刻/日付を設定するには

SETTINGS → [詳細設定] → [機器設定] → [時刻設定]

時刻を確認または変更できます。

- [自動で設定]：時刻と日付を設定できます。
- [サマータイム]：サマータイムの開始時刻と終了時刻を設定できます。サマータイムの開始/終了設定は、開始と終了が1日以上離れている場合のみ機能します。
- [タイムゾーンの設定]：大陸、国/地域、市町村の設定を変更できます。

モニターのオン/オフを自動的に切り替えるには

SETTINGS → [詳細設定] → [機器設定] → [タイマー]

モニターの[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定できます。

- [オンタイマー]：モニターをオンにする時刻を設定できます。
- [オフタイマー]：モニターをオフにする時刻を設定できます。
- [信号がなければ電源をオフ（15分）]：入力元がない場合、15分後、モニターは自動的にオフになります。自動的にオフにしたいくない場合は、[信号がなければ電源をオフ]を[オフ]に設定します。
- [自動電源オフ]：キー入力がない場合、モニターは自動的にオフになります。

ヒント

- 最大7件の予約についてオンタイマー/オフタイマーを保存できます。予約一覧で設定されている時刻になると、モニターの電源がオンまたはオフになります。予約一覧に複数の時刻が設定されている場合、この機能は現在の時刻から一番近い時刻に動作します。
- オンタイマーまたはオフタイマーは一度設定すると、設定した時刻に毎日動作します。
- 予約された電源オフの機能は、デバイスの時計が正しく設定されている場合にのみ正常に動作します。
- 予約された電源オンと電源オフの時刻が同一の場合、セットがオンであれば電源オフの時刻が優先されます。セットがオフであればその逆になります。

モニター設定を初期化するには

SETTINGS → [詳細設定] → [機器設定] → [初期化]
すべてのモニター設定を初期化します。

エンターテイメント

[マイメディア]の使用

USB/SD記憶装置の接続

USBフラッシュメモリー、SD記憶装置、外部ハードドライブなど、USB記憶装置をディスプレイに接続し、マルチメディア機能を使用します。



注意

- [マイメディア]画面が有効になっている場合は、モニターの電源をオフにしたり、USB記憶装置を取り外したりしないでください。これらを行うと、ファイルが失われたり、USB記憶装置が破損したりする場合があります。
- USB記憶装置に保存したファイルは、喪失または破損が保証対象外になる可能性があるため、頻繁にバックアップしてください。

USB/SD記憶装置の使用上のヒント

- USB記憶装置のみを認識できます。
- USB装置はUSBハブ経由で接続すると効果的に動作しません。
- 自動認識プログラムを使用しているUSB記憶装置は認識されないことがあります。
- 独自のドライバを使用しているUSB記憶装置は認識されないことがあります。
- USB記憶装置の認識速度は、デバイスごとに異なる場合があります。
- 接続したUSB記憶装置の動作中に、ディスプレイの電源をオフにしたり、USB記憶装置を取り外したりしないでください。USB記憶装置が突然取り外されると、保存されているファイルまたはデバイス自体が破損することがあります。
- PCで動作するように変更されたUSB記憶装置は接続しないでください。モニターの誤動作が発生したり、コンテンツの再生が失敗したりすることがあります。通常の音楽、画像、または動画ファイルを含むUSB記憶装置のみを使用してください。
- WindowsでサポートされていないユーティリティプログラムによってフォーマットされたUSB記憶装置は認識されないことがあります。
- 外部電源が必要な（0.5 Aを超える）USB記憶装置は、個別に電源に接続する必要があります。個別に電源を接続しなかった場合、デバイスが認識されないことがあります。
- USB記憶装置はデバイスメーカーから提供されているケーブルを使用して接続してください。
- USB記憶装置によっては、サポートされていないか、円滑に動作しない場合があります。
- USB記憶装置のファイル配置方法はWindows XPに類似しており、ファイル名については、英字で100文字まで認識可能です。
- USB記憶装置に保存されたデータは破損する場合があるため、重要なファイルは定期的にバックアップしてください。当社は、いかなるデータ喪失に対する責任も負いかねます。
- USB HDDに外部電源がない場合、USBデバイスが検出されないことがあります。デバイスが確実に検出されるように、外部電源を接続してください。
 - 外部電源には電源アダプターを使用してください。当社は、外部電源用のUSBケーブルを提供していません。
- USB記憶装置に複数のパーティションがある場合、またはUSBマルチカードリーダーを使用している場合は、最大で4つのパーティションまたはUSB記憶装置を使用できます。
- USB記憶装置をUSBマルチカードリーダーに接続した場合、ボリュームデータが検出されないことがあります。
- USB記憶装置が正常に動作しない場合は、一度取り外して再度接続してください。
- 検出速度はデバイスによって異なります。
- USB記憶装置がスタンバイモードで接続されている場合は、ディスプレイの電源をオンにしたときに、特定のハードディスクが自動的にロードされます。
- 推奨される容量は、USB外部ハードドライブの場合は1 TB以下、USBメモリースティックの場合は32 GB以下です。
- 推奨される容量を超える容量のデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- [映像省エネ設定]機能付きのUSB外部ハードドライブが動作しない場合は、ハードドライブの電源をオフにして再度オンにしてください。
- USB 2.0より前のUSB記憶装置はサポートされていますが、現在、動画では機能しないことがあります。
- 1つのフォルダー内では、最大999個のサブフォルダーまたはファイルが認識可能です。
- SDカードのSDHCタイプはサポートされています。SDXCカードを使用するには、まずカードをNTFSファイルシステムにフォーマットします。
- SDカードとUSB記憶装置ではexFATファイルシステムがサポートされていません。

[マイメディア]でサポートされているファイル

サポートされている外部字幕形式

(モデルによっては、字幕がサポートされていない場合があります。)

- *.smi、*.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0) 、*.ass、*.ssa、*.txt (TMPlayer)、*.psb (PowerDivX) 、*.dcs (DLP Cinema)

選択再生を使用するには

HOME →  → [写真]/[動画]/[音楽]/[すべて] → 

- [選択再生]: アイコンボタンを押した後コンテンツを選択して 'PLAY' ボタンを押してください。
選択したコンテンツを再生します。

カテゴリーを設定するには

HOME →  → [写真]/[動画]/[音楽]/[すべて] → 

- [カテゴリー]: 選択したデバイスからコンテンツをインポートします。

[予約再生]を設定するには

HOME →  → [写真]/[動画]/[音楽]/[すべて] → 

- [予約再生]: 予約アイコンを押した後[写真]、[動画]コンテンツを選択して[予約再生]ボタンを押してください。スケジュール生成のためのポップアップが出ます。ポップアップでスケジュールの再生する曜日、開始時間、終了時間、スケジュール再生の繰り返しのオン/オフを設定すると、スケジュールが作成されます。作成されたスケジュールはアプリケーションの[ローカルコンテンツスケジュール]から確認することができます。既に作成されたスケジュールと日程が重複した場合、エラーメッセージのポップアップが表示されます。この場合は、スケジュールが作成できません。

サポートされている内部字幕形式

- フルHD動画
1920 x 1080 : XSUB (DivX6から生成される内部字幕をサポート)
- [Ultra HDモデルのみ] Ultra HD映像 : 内部字幕はサポートされていません。

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
.asf .wmv	動画	VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard、WMA 10 Professional
.divx .avi	動画	DivX3.11, DivX4, DivX5, DivX6, XViD, H.264/AVC, Motion Jpeg, MPEG-4 Part2
	音声	MPEG-1 Layer I, II, MPEG-1 Layer III (MP3), Dolby Digital, LPCM, ADPCM, DTS
.mp4 .m4v .mov	動画	H.264/AVC, MPEG-4 Part2
	音声	AAC, MPEG-1 Layer III (MP3)
.3gp .3g2	動画	H.264/AVC, MPEG-4 Part2
	音声	AAC, AMR-NB, AMR-WB
.mkv	動画	H.264/AVC
	音声	HE-AAC, Dolby Digital
.ts .trp .tp .mts .m2ts	動画	H.264/AVC, MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I, II, MPEG-1 Layer III (MP3), Dolby Digital, Dolby Digital Plus, AAC, PCM
.mpg .mpeg	動画	MPEG-1, MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I, II, MPEG-1 Layer III (MP3), AAC
.vob	動画	MPEG-1, MPEG-2
	音声	Dolby Digital, MPEG-1 Layer I, II, DVD-LPCM

サポートされている音声ファイル

ファイル形式	項目	情報
.MP3	ビットレート	32～320 kbps
	サンプル周波数	16～48 KHz
	サポート	MPEG1、MPEG2、Layer2、Layer3
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.ogg	ビットレート	64～500 Kbps
	サンプル周波数	8～48 kHz
	サポート	Vorbis
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wma	ビットレート	～1.5 Mbps
	サンプル周波数	8～192 kHz
	サポート	WMA
	チャンネル	最大6チャンネル

サポートされている写真ファイル

ファイル形式	形式	項目
.jpeg、.jpg、.jpe	JPEG	- 最小：64 x 64 - 最大： - 標準タイプ：15360 (W) x 8640 (H) - プログレッシブタイプ：1920 (W) x 1440 (H)
.png	PNG	- 最小：64 x 64 - 最大：5760 (W) x 5760 (H)
.bmp	BMP	- 最小：64 x 64 - 最大：1920 (W) x 1080 (H)

(SuperSign Managerで) サポートされているコンテンツのファイルと形式

ファイル拡張子	*.cts、*.sce
動画ファイル拡張子	*.mpg、*.mpeg、*.dat、*.ts、*.trp、*.tp、*.mp4、*.mkv、*.avi、 *.avi (motion JPEG)、*.mp4 (motion JPEG)、*.mkv (motion JPEG)
動画形式	MPEG1、MPEG2、MPEG4、H.264、DivX 3.11、DivX 4、DivX 5、DivX 6、 Xvid 1.00、Xvid 1.01、Xvid 1.02、Xvid 1.03、Xvid 1.10-beta1/2、Motion JPEG
音声形式	MP3、Dolby Digital、LPCM、AAC、HE-AAC、AMR-NB、AMR-WB
Webページ	iframeをサポートしているWebページのみ表示できます。

動画の視聴

ディスプレイで動画ファイルを再生しましょう。保存されているすべての動画がディスプレイに表示されます。

ディスプレイで動画ファイルを再生するには

HOME →  → [動画]

動画ファイル再生のヒント

- ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
- 字幕内の一部の特殊文字は再現されません。
- HTMLタグは字幕ではサポートされていません。
- サポートされていない言語の字幕は使用できません。
- 音声言語を変更するとスクリーンが一時的に乱れる（画像が停止する、再生速度が速くなるなど）ことがあります。
- 破損した動画ファイルは正常に再生されないことがあります。また、プレーヤー機能の一部が使用できないことがあります。
- 一部のエンコードで作成された動画ファイルは正常に再生されないことがあります。
- 録画ファイルの動画と音声が入インターリーブ構造になっていない場合は、動画と音声のいずれかのみが出力されます。
- 指定した種類および形式以外の動画ファイルは正常に動作しないことがあります。
- 再生可能な動画ファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです（Motion JPEG：10 Mbpsのみ）。
- H.264/AVCのレベル4.1以上でエンコードされたファイルについては、円滑な再生は保証いたしかねます。
- ファイルサイズが30 GBを超える動画ファイルはサポートされていません。
- DivXの動画ファイルと字幕ファイルは、同じフォルダーに配置する必要があります。
- ビデオファイルと字幕ファイルは、同じフォルダに配置する必要があります。字幕を正常に表示するには、ビデオファイル名と字幕ファイル名が同じでなければなりません。
- 高速接続をサポートしていないUSB接続経由で動画を再生すると、動画が正常に機能しないことがあります。
- メーカーやモデルによっては、ネットワーク接続ストレージ（NAS）デバイス上の字幕がサポートされていない場合があります。
- GMC（Global Motion Compensation）またはQpel（Quarterpel Motion Estimation）が含まれているストリーミング ファイルはサポートされていません。
- [Ultra HDモデルのみ] Ultra HD映像：3840 X 2160
LG Electronicsが正式に提供しているコンテンツ以外のHEVCエンコードのUltra HD動画には再生できないものがあります。 ソフトウェアをアップグレードすれば使用できるコーデックがあります。

拡張子	コーデック	
.mkv .mp4 .ts	ビデオ	H.264/AVC、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、HE-AAC

- エンコード条件によって再生可能なファイルサイズは異なります。
- AACメインプロファイルはサポートされていません。
- 一部のエンコードで作成されたビデオファイルは再生できないことがあります。



ヒント

- [動画]で変更されたオプション値は、[写真]と[音楽]には影響しません。同様に、[写真]または[音楽]で変更されたオプション値が[動画]に影響することはありません。
- [写真]と[音楽]で変更されたオプション値は相互に影響します。
- 動画ファイルを停止した後に再開すると、停止した時点から再生できます。
- 字幕ファイルでは、10,000個までの同調ブロックを使用できます。
- 動画を再生するときは、ARCボタンを押して映像サイズを調整できます。
- OSDメニューが韓国語である場合にのみ、韓国語字幕がサポートされています。
- コードページのオプションは、字幕ファイルの言語によっては無効となることがあります。
- 字幕ファイルに対応したコードページを選択してください。

写真の表示

画面での表示は、このモデルとは異なる場合があります。

画像ファイルの表示

HOME →  → [写真]

音楽の再生

音楽ファイルの表示

HOME →  → [音楽]

✓ ヒント

- サポートされていない拡張子のファイルは表示されません。
- ファイルが無効な場合は、破損した画像と、「ファイルを認識できません」というメッセージが表示されます。
- 破損した音楽ファイルは00:00として表示され、再生されません。
- 有料サービスからダウンロードした著作権保護付きの音楽ファイルは再生されず、再生中に不正確な情報が表示されることがあります。
- このモードでも、リモコンの 、、、 ボタンを使用できます。
-  ボタンを押すと次のトラックを、 ボタンを押すと前のトラックを選択できます。
- 曲を再生してから5秒以内に  ボタンを押すと、前の曲に戻ります。再生してから5秒を過ぎて同じボタンを押すと、曲の頭に戻ります。

設定

DRM保護付きのDivX®動画を再生するには、製品を登録する必要があります。

購入またはレンタルしたDivX® VODコンテンツを登録/登録解除するには

HOME →  → [動画] → [DivX® VOD]

購入またはレンタルしたDivX® VODコンテンツを再生するには、デバイスから www.divx.com/vod にアクセスし、10桁のDivX登録コードでデバイスを登録する必要があります。

- [登録]：ディスプレイの登録コードを表示します。
- [登録解除]：登録をキャンセルします。

✓ ヒント

- 登録コードの確認中、一部のボタンが動作しなくなることがあります。
- 別のデバイスのDivX登録コードを使用している場合は、レンタルまたは購入したDivXファイルを再生できません。製品に割り当てられているDivX登録コードのみを使用してください。
- 標準DivXコーデックを使用して変換されていない動画や音声ファイルは、破損しているか、再生できないことがあります。
- DivX® VODコードを使用すると、1つのアカウントで最大6つのデバイスをアクティブ化できます。
- 登録を解除した後は、DivX® VODコンテンツを見るために再度デバイスを登録する必要があります。

ファイルの移動、コピー、削除

ファイルを移動、コピー、または削除できます。

ファイルを移動、コピー、または削除するには

HOME →  → [デバイス]

- ファイルまたはフォルダーを内部メモリーから外部メモリーに移動またはコピーできます。
- ファイルまたはフォルダーを外部メモリーから内部メモリーに移動またはコピーできます。
- 内部メモリーまたは外部メモリーからファイルまたはフォルダーを削除できます。

✓ ヒント

- 内部メモリーの空き容量よりサイズの大きなファイルを、内部メモリーにコピーしたり移動したりすることはできません。

SuperSignコンテンツ

SuperSign Editorの[エクスポート]オプションを使用して、保存したファイルを再生します。

[エクスポート]オプションを使用して保存されたファイルを再生するには

HOME → 

SuperSign Managerによって配信されたコンテンツのみが表示され、選択可能です。USB/SD記憶装置が接続されている場合は、USB/SDデバイス上の映像も出力されます。

✓ ヒント

- USB記憶装置にAutoPlayフォルダーがあり、対象ファイルがサポートされる形式である場合は、USB記憶装置をモニターに接続すると自動的にそれらのファイルが再生されます。

情報

Signage Monitorの基本情報を確認するには

HOME → 

Signage Monitorについての基本情報を確認できます。

また、[スマート省エネモード]に切り替えたり、[Fail Over (フェイルオーバー)]設定を構成したりできます ([映像省エネ設定]モードが[オフ]に設定されている場合にのみ、[スマート省エネモード]に切り替えることができます)。

ローカルコンテンツスケジュール

- 適用モデルは限定されます。

[マイメディア]で作成された予約再生を表示したり、削除したりすることができます。

[ローカルコンテンツスケジュール]にアクセスするには

HOME → 

[ローカルコンテンツスケジュール]に進み、[マイメディア]で作成された予約再生リストを確認します。

✓ ヒント

- デフォルトで、[ローカルコンテンツスケジュール]は、現在接続されているデバイスで作成された予約再生を一覧に表示します。

新しい予約再生を追加するには

HOME →  → 

- [予約再生設定]：ポップアップウィンドウで、[マイメディアに移動]ボタンをクリックして[マイメディア]に入り、新しい予約再生を作成します。予約再生の作成は本書の16ページの「[予約再生]を設定するには」を参照してください。

✓ ヒント

- 時刻設定がされていない場合は、時刻設定の警告ポップアップが表示されます。時刻設定が完了していない場合、スケジュールを作成することができません

フィルターを設定するには

HOME →  → 

- [フィルター]：予約再生の作成に使用したデバイスタイプでソートして、一覧を表示できます。

予約再生を削除するには

HOME →  → 

- [削除]：予約再生を選択して削除できます。

予約再生の詳細情報を表示するには

HOME →  → 予約再生の選択

- 予約再生の一覧から特定の予約再生を選択し、その詳細情報を表示します。

すぐに予約再生を再生するには

HOME →  → 予約再生の選択 → [再生]ボタン

- 予約再生をすぐ再生するには、予約再生の詳細情報のページで、サムネイルの上にある[再生]ボタンをクリックします。

✓ ヒント

- 予約された時刻ではなく、すぐに予約再生を再生するには、その予約再生を再生可能なステータスになっている必要があります。つまり、対象の予約再生の作成に使用したデバイスに接続されており、その予約再生に含まれるコンテンツがすべて有効である必要があります。

予約再生の編集

HOME →  → 目的の予約再生を選択します → 

- [編集]：目的の[予約再生]の[詳細]ページ左上にある[編集]ボタンをクリックすると[マイメディア]へ進み、コンテンツなどの予約再生情報を編集できます。

✓ ヒント

- 予約再生の作成に使用したデバイスが接続されている場合のみ、予約再生を編集できます。

Screen Share

- 適用モデルは限定されます。

WiDiやMiracastのような無線接続を使用して、お客様の携帯電話やPC Windowsなどのデバイスの画面をディスプレイと共有できるようになります。

Screen Shareを使用するには

HOME → 

Screen Shareアプリを実行中の場合、WiDiやMiracastのような無線接続は自動的に[オン]に設定され、ディスプレイは自動的に接続準備モードに変更されます。この状態では、デバイスで無線接続をオンにし、ディスプレイを選択してそのデバイスとディスプレイ間で接続を確立すると、Screen Shareを使用できます。



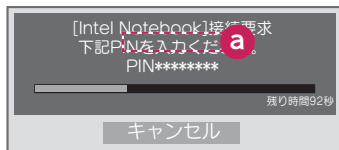
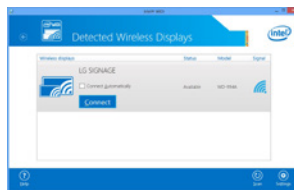
WiDi (Wireless Display) の設定

Wireless Displayの略語であるWiDiは、動画や音声をIntel WiDi対応のノートパソコンからディスプレイに無線で転送するシステムです。

WiDiは特定の入力モード（コンボジット/コンポーネント/RGB/HDMI/DisplayPort/OPS/DVI-D）のみ使用できます。

これ以外の入力モードでは、PCがLG Signageを検知できません。

- 1 ノートパソコンをAPに接続します（この機能はAPなしでも使用できますが、最適な性能を得るためにAP接続をお勧めします）。
ノートパソコンでIntel WiDi  プログラムを実行します。
- 2 WiDiをサポートしている、近くに存在するLG Signageが検知されます。検知されたディスプレイ一覧から接続するSignageを選択し、[接続]をクリックします。
Signageに表示された8桁のPIN番号（**a**）をノートパソコン（**b**）の入力フィールドに入力し、[続行]をクリックします。



Signageの画面



ノートパソコンの画面

- 3 10秒以内に、Signageの画面にノートパソコンの画面が表示されます。無線環境が画面表示に影響を与えることがあります。
接続状態が悪いと、Intel WiDi接続が切断される場合があります。
- LG Signageは登録する必要がありません。
 - Intel WiDiの使用方法の詳細については、<http://intel.com/go/widi>を参照してください。
 - この機能はWiDi 3.5以上のバージョンで正常に動作します。

接続モードを選択するには

HOME →  → [リッスンモード]

[オン]または[オフ]を選択できます。

[オン]に設定されていると、アプリが実行中であってもWiDiやMiracastのような無線接続機能をオンにし、デバイスを接続して表示するディスプレイを選択できます。これで、Screen Shareが使用可能になります。

✓ ヒント

- Screen Shareアプリがホーム画面から削除されている場合は、[リッスンモード]が[オン]に設定されていてもScreen Shareを使用することはできません。

転送速度を設定するには

HOME →  → [転送速度]

[速く]または[標準]の転送速度を設定できます。Screen Shareの実行中は、このオプションによりデバイスとディスプレイ間の画像出力の時間差が調整されます。転送速度を調整すると、ミラーリングの使用時にディスプレイの中断が修復されます。

SuperSign EZ

- 適用モデルは限定されます。

[SuperSign EZ]によってSignageコンテンツの作成、再生ができます。この機能により、テンプレートをもとにSignageコンテンツを編集し、再生時間を設定できます。さらに、この機能により、モバイルデバイスやPCから[SuperSign EZ]にアクセスしてコンテンツを作成/編集することもできます。



注意

- USBメモリー/SDカードに保存された最大5,000枚の画像をPCまたはモバイルデバイスから表示できます。5,000枚を超える画像は、PCまたはモバイルデバイスから表示できません。また、使用のためにUSBメモリーまたはSDカードに保存する画像は1,000枚以下にすることをお勧めします。1,000枚超の画像を使用するときは、環境により画像がスムーズに表示されない場合があります。
- サポートされているデバイス（デバイスやブラウザの種類やバージョンによっては、使用できない機能があります。）
 - Android 4.4以降（Chromium v.38.0）
 - iOS 8以降（Safari v.600.1.4以降）
 - PC：Chromium v.38.0
- コンテンツ再生時間：最短再生時間は5秒に設定されています。コンテンツ再生時間を5秒未満に設定した場合は、自動的に5秒に初期化されます。
- UHDビデオをUHDモデルで再生する場合、処理速度が限定されるため、高ビットレートのビデオは正常に再生されない場合があります。

特徴

- （画像とテキストの）追加/編集/Signageコンテンツの削除/再生時間と名前の変更。
- モバイルデバイスへの画像と動画の追加。
- USB/SD記憶装置と内蔵メモリーから追加した画像を使用できます。

使用方法

- モニター：ランチャーバーにあるアプリを実行して、目的のコンテンツを追加/編集/削除できます。
- モバイルデバイス：ランチャーバーにあるアプリを実行し、提供されているQRコードまたはURLを使用してアクセスします。



ヒント

- モバイルデバイスを使用する場合は、PINコードを使用する正規プロセスに従う必要があります。デフォルトPINコードは「0000」です。
- 同じ画面をモニターとしてPCで表示する場合は、全画面表示（F11）機能を、1920 x 1080（フルHD）の解像度で使用してください。

写真がサポートされているファイル

ファイル形式	形式	項目
jpeg、jpg、jpe	JPEG	• 最小：64 x 64 • 最大： - 標準タイプ：15360（W） x 8640（H） - プログレッシブタイプ：1920（W） x 1440（H）
.png	PNG	• 最小：64 x 64 • 最大：5760（W） x 5760（H）

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
.asf .wmv	動画	VC-1 シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard、WMA 10 Professional
.divx .avi	動画	DivX3.11、DivX4、DivX5、DivX6、XViD、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4 Part2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、LPCM、ADPCM、DTS
.mp4 .m4v .mov	動画	H.264/AVC、MPEG-4 Part2
	音声	AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)
.3gp .3g2	動画	H.264/AVC、MPEG-4 Part2
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	動画	H.264/AVC
	音声	HE-AAC、Dolby Digital
.ts .trp .tp .mts .m2ts	動画	H.264/AVC、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM
.mpg .mpeg	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、AAC
.vob	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

動画ファイル再生のヒント

- 破損した動画ファイルは正常に再生されないことがあります。また、プレーヤ機能の一部が使用できないことがあります。
- 一部のエンコーダで作成された動画ファイルは正常に再生されないことがあります。
- 指定した種類および形式以外の動画ファイルは正常に動作しないことがあります。
- 再生可能な動画ファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです (Motion JPEG：10 Mbpsのみ)。
- H.264/AVCのレベル4.1以上でエンコードされたプロファイルについては、円滑な再生は保証いたしかねます。
- 50 MB超の動画ファイルはモバイルデバイスから正常にアップロードできないことがあります。そのような大きいファイルはUSB/SD記憶装置で再生することをお勧めします。
- [Ultra HDモデルのみ] Ultra HD映像：3840 X 2160
LG Electronicsが正式に提供しているコンテンツ以外のHEVCエンコードのUltra HD動画には再生できないものがあります。

拡張子	コーデック	
.mkv .mp4 .ts	ビデオ	H.264/AVC、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、HE-AAC

- ソフトウェアをアップグレードすれば使用できるコーデックがあります。

マルチ画面

- 適用モデルは限定されます。

この機能を使用すると、単一の画面上で複数の外部入力や動画を表示できます。

[マルチ画面]へのアクセス

HOME → 

[マルチ画面]に移動して、画面のレイアウトを選択します。

✓ ヒント

- [マルチ画面]に移動するとき、デバイスによっては、最適な解像度を自動的に選択する間、画面がちらついたり、映像に異常が見られたりすることがあります。このような場合は、モニターを再起動してください。

画面のレイアウトの選択

画面のレイアウトを設定しないで[マルチ画面]に移動すると、画面のレイアウトの選択メニューが表示されます。

画面のレイアウトのメニューが表示されない場合は、リモコンの上向き矢印キーを押して画面のレイアウトのメニューバーに進み、画面のレイアウトのメニューバーを選択して、画面のレイアウトのメニューを表示できます。

画面のレイアウトのメニューを閉じる

画面のレイアウトのメニューから、リモコンの上向き矢印キーを押して画面レイアウトのメニューバーに移動し、画面のレイアウトのメニューバーを選択するか、BACKを押して、画面のレイアウトのメニューを閉じます。

画面入力の変更

各分割画面の右上にある  ボタンを押して、目的の入力を選択します。

✓ ヒント

- 他の分割画面ですでに選択した入力を、再度選択することはできません。すでに選択した入力を選択するには、まず[リセット]ボタンを押して、全画面の入力をリセットします。

映像IDの設定

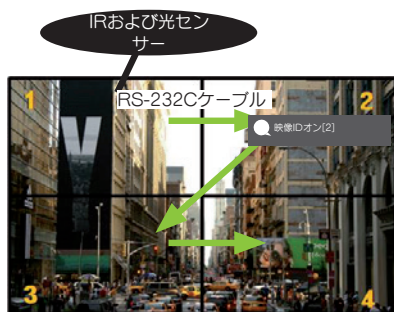
- 適用モデルは限定されます。

映像IDは、マルチビジョン用のIRレシーバーを1つ使用して特定のセット（ディスプレイ）の設定を変更する場合に使用します。IRレシーバー付きのモニターと、RS-232Cケーブルを使用するその他のモニターとの通信が可能です。各モニターは、セットIDによって識別されます。リモコンを使用して映像IDを割り当てると、映像IDとセットIDが一致するディスプレイのみをリモコン操作できます。

✓ ヒント

- 映像IDが2に設定されている場合は、セットIDが2である右上のモニターのみをIR信号によって制御できます。
- 映像IDに対して緑色のOFFボタンを押すと、すべてのモニターの映像IDがオフになります。その後、リモコンの任意のボタンを押すと、セットIDに関係なくすべてのモニターをIR信号によって制御できます。

- 1 以下に示すように、設置されたモニターにセットIDを割り当てます。



- 2 リモコンの赤いONボタンを押して、映像IDを割り当てます。
- 3 選択した対象にセットIDを割り当てます。
 - 映像IDとは異なるセットIDを持つセットは、IR信号によって制御できません。

IRコード

すべてのモデルがHDMI/USB機能をサポートしているわけではありません。
モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

コード (16進)	機能	備考
08	 POWER	リモコンボタン
C4	MONITOR ON	リモコンボタン
C5	MONITOR OFF	リモコンボタン
95	Energy Saving	リモコンボタン
0B	INPUT	リモコンボタン
10	数字キー-0	リモコンボタン
11	数字キー-1	リモコンボタン
12	数字キー-2	リモコンボタン
13	数字キー-3	リモコンボタン
14	数字キー-4	リモコンボタン
15	数字キー-5	リモコンボタン
16	数字キー-6	リモコンボタン
17	数字キー-7	リモコンボタン
18	数字キー-8	リモコンボタン
19	数字キー-9	リモコンボタン
02	Volume  (+)	リモコンボタン
03	Volume  (-)	リモコンボタン
E0	BRIGHTNESS  (ページアップ)	リモコンボタン
E1	BRIGHTNESS  (ページダウン)	リモコンボタン
DC	3D	リモコンボタン
32	1/a/A	リモコンボタン
2F	CLEAR	リモコンボタン
7E	 SIMPLINK	リモコンボタン
79	ARC (MARK) (画面サイズ)	リモコンボタン
4D	PSM (映像モード)	リモコンボタン
09	MUTE	リモコンボタン
43	SETTINGS (メニュー)	リモコンボタン
99	Auto Config.	リモコンボタン
40	上▲	リモコンボタン
41	下▼	リモコンボタン
06	右▶	リモコンボタン
07	左◀	リモコンボタン
44	OK	リモコンボタン
28	BACK	リモコンボタン

コード (16進)	機能	備考
7B	TILE	リモコンボタン
5B	EXIT	リモコンボタン
72	PICTURE ID ON (赤)	リモコンボタン
71	PICTURE ID OFF (緑)	リモコンボタン
63	黄	リモコンボタン
61	青	リモコンボタン
B1	■	リモコンボタン
B0	▶	リモコンボタン
BA		リモコンボタン
8F	◀	リモコンボタン
8E	▶	リモコンボタン
5F	W.BAL	リモコンボタン
3F	S.MENU	リモコンボタン
7C	HOME	リモコンボタン

* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

複数のモニターを制御するには

- 適用モデルは限定されます。

この方法を使用して、複数のモニターを1台のPCに接続できます。複数のモニターを1台のPCに接続することで、それらを一度に制御できます。

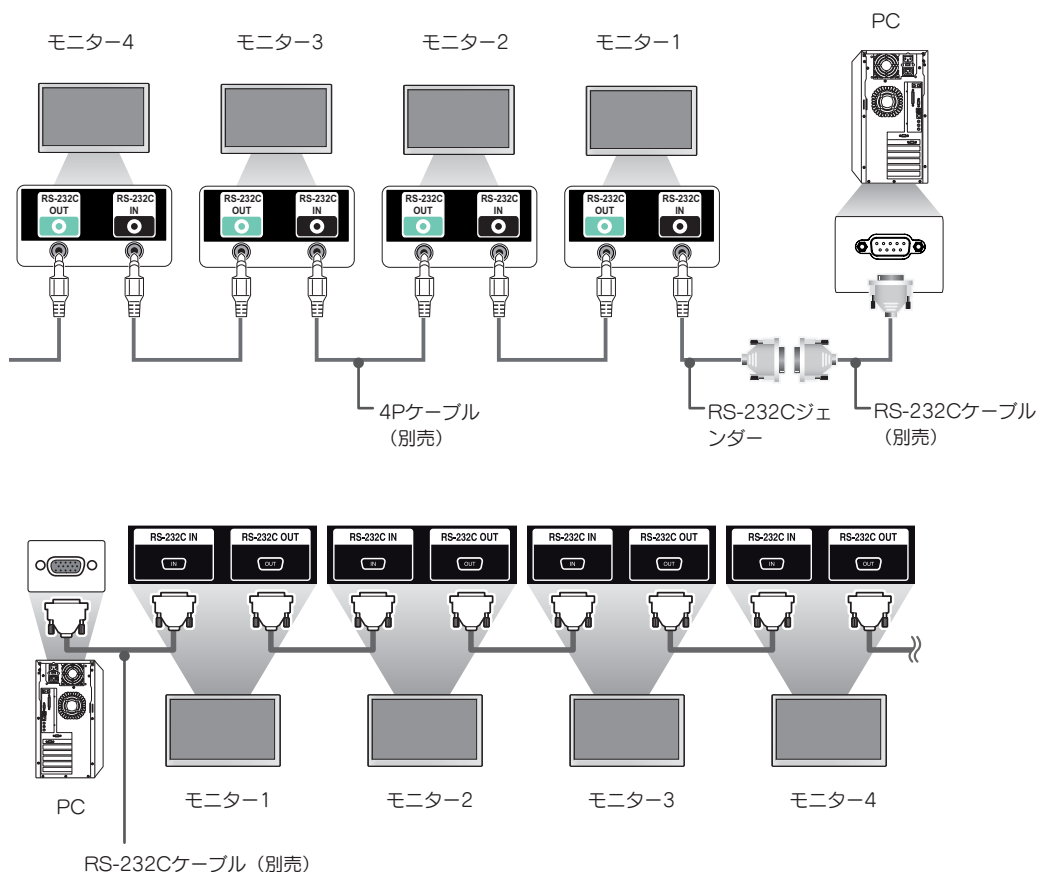
[オプション]メニューで、セットIDは1~1000の範囲にし、重複がないようにする必要があります。

ケーブルの接続

- モデルによっては、図と配置が異なる場合があります。

図のようにRS-232Cケーブルを接続します。

PCとモニター間の通信にはRS-232Cプロトコルが使用されます。モニター電源のオン/オフ、入力元の選択、OSDメニューの調整をPCから操作できます。



通信パラメータ

ボーレート：9600 BPS

データ長：8ビット

パリティビット：なし

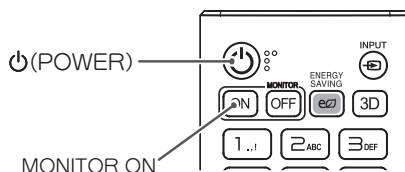
ストップビット：1ビット

フロー制御：なし

通信コード：ASCIIコード

✔ ヒント

- 3本の配線で接続している場合（非標準）、赤外線通信機能のデジチェーン接続は使用できません。
- 適切に接続するために必ず同梱のジェンダーのみをご使用ください。
- （複数のモニターを制御する）デジチェーンを介して接続された複数のモニターのオフとオンを連続して行くと、一部のモニターがオンにならないことがあります。この場合は、POWERボタンではなくMONITOR ONボタンを押すと、それらのモニターをオンにすることができます。



コマンドリファレンスリスト

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
01	電源	k	a	00~01
02	入力の選択	x	b	「入力の選択」を参照
03	画面サイズ	k	c	「画面サイズ」を参照
04	映像省エネ設定	j	q	「映像省エネ設定」を参照
05	映像モード	d	x	「映像モード」を参照
06	コントラスト	k	g	00~64
07	明るさ	k	h	00~64
08	シャープネス	k	k	00~32
09	色の濃さ	k	i	00~64
10	色合い	k	j	00~64
11	色温度	x	u	00~64
12	バランス	k	t	00~64
13	サウンドモード	d	y	「サウンドモード」を参照
14	ミュート	k	e	00~01
15	音量コントロール	k	f	00~64
16	時刻1 (年/月/日)	f	a	「時刻1」を参照
17	時刻2 (時/分/秒)	f	x	「時刻2」を参照
18	オフ時刻スケジュール	f	c	00~01
19	オン時刻スケジュール	f	b	00~01
20	オフタイマー (繰り返し/時刻)	f	e	「オフタイマー」を参照
21	オンタイマー (繰り返し/時刻)	f	d	「オンタイマー」を参照
22	オンタイマー入力	f	u	「オンタイマー入力」を参照
23	信号がなければ電源をオフ (15分)	f	g	00~01
24	自動電源オフ (4時間)	m	n	00~01
25	言語	f	i	「言語」を参照
26	リセット	f	k	00~02
27	現在の温度	d	n	FF
28	キー	m	c	「キー」を参照
29	経過時間	d	l	FF
30	製品シリアル番号	f	y	FF
31	ソフトウェアバージョン	f	z	FF
32	ホワイトバランス赤ゲイン	j	m	00~FE
33	ホワイトバランス緑ゲイン	j	n	00~FE
34	ホワイトバランス青ゲイン	j	o	00~FE
35	ホワイトバランス赤オフセット	s	x	00~7F
36	ホワイトバランス緑オフセット	s	y	00~7F
37	ホワイトバランス青オフセット	s	z	00~7F
38	バックライト	m	g	00~64

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
39	映像オフ	k	d	00~01
40	タイトルモード	d	d	00~FF
41	タイトルモードの確認	d	z	FF
42	タイトルID	d	i	「タイトルID」を参照
43	ナチュラルモード	d	j	00~01
44	DPM選択	f	j	00~07
45	リモコン/ローカルキーロック	k	m	00~01
46	電源オンディレイ	f	h	00~FA
47	フェイルオーバー選択	m	i	00~02
48	フェイルオーバー入力選択	m	j	「フェイルオーバー入力選択」を参照
49	IRの操作	t	p	00~02
50	ローカルキーの操作	t	o	00~02
51	ステータスの確認	s	v	「ステータスの確認」を参照
52	画面の確認	t	z	00~01
53	スピーカー	d	v	00~01
54	サマータイム	s	d	「サマータイム」を参照
55	PMモード	s	n、0c	00~03
56	ISMモード	j	p	「ISMモード」を参照
57	ネットワーク設定	s	n、80 (81) (82)	「ネットワーク設定」を参照
58	自動調整	j	u	01
59	水平位置	f	q	00~64
60	垂直位置	f	r	00~64
61	水平サイズ	f	s	00~64
62	電源オンステータス	t	r	00~02
63	LANで起動	f	w	00~01
64	インテリジェントオート	t	i	00~01
65	OSDポートレートモード	t	h	00~02
66	初期化	t	n	00~01
67	時刻同期	s	n、16	00~01
68	コンテンツ同期	t	g	00~01
69	[ピボットモード]	t	a	00~01
70	[スタジオモード]	s	n、83	00~01
71	[LANデジチェーン]	s	n、84	00~01
72	[コンテンツの回転]	s	n、85	00~02
73	[DPMウェイクアップ制御]	s	n、0b	00~01
74	[スキャン反転]	s	n、87	00~01
75	[ピーコン]	s	n、88	00~01

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
76	[画面サイズ (回転)]	s	n、89	00~01
77	[かんたん明るさコントロール モード]	s	m	00~01
78	[かんたん明るさコントロールの スケジュール]	s	s	「かんたん明るさコントロールのスケ ジュール」参照
79	MultiScreen Mode & Input (マルチ画面モードおよび入力)	x	c	「MultiScreen Mode & Input (マルチ 画面モードおよび入力)」を参照
80	Aspect Ratio(MultiScreen) (画面サイズ (マルチ画面))	x	d	「Aspect Ratio(MultiScreen) (画面サ イズ (マルチ画面))」を参照
81	Screen Mute(MultiScreen) (画面ミュート (マルチ画面))	x	e	「Screen Mute(MultiScreen) (画面ミ ュート (マルチ画面))」を参照
82	Screen Off Always (常に映 像オフ)	s	n、0d	00~01
83	Screen Video Freeze (画面 の映像を固定)	k	x	00~01
84	Wireless Wake-on-LAN (ワイ ヤレスLANで起動)	s	n、90	00~01
85	OSD Display (OSDディスプ レイ)	k	l	00~01
86	UPnP Mode (UPnPモード)	s	n、9c	00~01

* 注： 外部入力を使用されていない場合、コマンドは動作しないことがあります。 モデルによって
は、一部のコマンドがサポートされていない場合があります。

送受信プロトコル

送信

[コマンド1][コマンド2][][セットID][][データ][Cr]

- * [コマンド1]：工場出荷時設定モードかユーザー設定モードかを特定します。
- * [コマンド2]：モニターセットを制御します。
- * [セットID]：制御するセットの選択に使用されます。OSDメニューの[設定]で、各セットに1～1000（01H～3E8H）の一意的セットIDを割り当てることができます。セットIDに「00H」を選択すると、すべての接続されたモニターを同時に制御できます。（モデルによって最大値は異なります。）
- * [データ]：コマンドデータを送信します。
コマンドによってはデータカウントが増える場合があります。
- * [Cr]：キャリッジリターン。アスキーコードの「0x0D」に対応しています。
- * []：ホワイトスペース。アスキーコードの「0x20」に対応しています。

アクノリッジメント

[コマンド2][][セットID][][OK/NG][データ][x]

- * モニターは、正常なデータを受信すると、この形式に基づいてACK（アクノリッジメント）を送信します。このとき、データがFFである場合は、現在のステータスデータを示します。データがデータ書き込みモードになっている場合は、PCコンピュータのデータを返します。
- * コマンドがセットID「00」（=0x00）とともに送信された場合は、データがすべてのモニターセットに反映され、各モニターセットはアクノリッジメント（ACK）を送信しません。
- * RS-232Cを介して制御モードでデータ値「FF」を送信すると、機能の現在の設定値を確認できます（ただし一部の機能に限定）。
- * モデルによっては一部のコマンドがサポートされません。

01. 電源（コマンド：k a）

セットの電源のオン/オフを制御します。

Transmission

[k][a][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：オフ
01：オン

Acknowledgement

[a][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* アクノリジメント信号は、モニターの電源が完全にオンになったときにのみ適切に返されます。

* 送信信号とアクノリジメント信号の間に遅延が発生することがあります。

02. 入力の選択（コマンド：x b）

入力信号を選択します。

Transmission

[x][b][][Set ID][][Data][Cr]

データ 20：AV
40：コンポーネント
60：RGB
70：DVI-D（PC）
80：DVI-D（DTV）
90：HDMI1（DTV）
A0：HDMI1（PC）
91：HDMI2/OPS（DTV）
A1：HDMI2/OPS（PC）
92：OPS/HDMI3/DVI-D（DTV）
A2：OPS/HDMI3/DVI-D（PC）
95：OPS/DVI-D（DTV）
A5：OPS/DVI-D（PC）
96：HDMI3/DVI-D（DTV）
A6：HDMI3/DVI-D（PC）
C0：DISPLAYPORT（DTV）
D0：DISPLAYPORT（PC）
E0：SuperSign webOS Player
E1：その他
E2：マルチ画面

Acknowledgement

[b][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、一部の入力信号がサポートされていない場合があります。

** SuperSign Wから配信されたわけではない場合、webOS PlayerはNGを返します。

03. 画面サイズ（コマンド：k c）

画面サイズを調整します。

Transmission

[k][c][][Set ID][][Data][Cr]

データ 01：4:3
02：16:9
04：ズーム
06：プログラム
09：ジャストスキャン（720p以上）
10～1F：シネマズーム1～16
21：58:9
30：垂直方向にズーム
31：全方向にズーム

* 使用可能なデータタイプは、入力信号によって異なります。詳細については、取扱説明書の画面サイズのセクションを参照してください。

* 画面サイズは、モデルの入力設定によって異なる場合があります。

Acknowledgement

[c][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

04. 映像省エネ設定（コマンド：j q）

映像省エネ設定を設定します。

Transmission

[j][q][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：オフ
01：最小
02：中
03：最大
04：自動
05：映像オフ

Acknowledgement

[q][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

05. 映像モード（コマンド：d x）

映像モードを選択します。

Transmission

[d][x][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：あざやか
01：標準
02：シネマ
03：スポーツ
04：ゲーム
05：エキスパート1
06：エキスパート2
08：APS
09：写真
10：タッチ
11：キャリブレーション

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、一部のピクチャーモードがサポートされていない場合があります。

06. コントラスト (コマンド : k g)
画面のコントラストを調整します。

Transmission

[k][g][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : コントラスト0~100

Acknowledgement

[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

07. 明るさ (コマンド : k h)
画面の明るさを調整します。

Transmission

[k][h][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : 明るさ0~100

Acknowledgement

[h][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

08. シャープネス (コマンド : k k)
画面のシャープネスを設定します。

Transmission

[k][k][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~32 : シャープネス0~50

Acknowledgement

[k][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

09. 色の濃さ (コマンド : k i)
画面の色を調整します。

Transmission

[k][i][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : 色の濃さ0~100

Acknowledgement

[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

10. 色合い (コマンド : k j)
画面の色合いを調整します。

Transmission

[k][j][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : 色合いの赤50~緑50

Acknowledgement

[j][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

11. 色温度 (コマンド : x u)
画面の色温度を調整します。

Transmission

[x][u][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : 暖色50~冷色50

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

12. バランス (コマンド : k t)
サウンドバランスを調整します。

Transmission

[k][t][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : 左50~右50

Acknowledgement

[t][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

13. サウンドモード (コマンド : d y)
サウンドモードを選択します。

Transmission

[d][y][][Set ID][][Data][Cr]

データ 01 : 標準
02 : 音楽
03 : シネマ
04 : スポーツ
05 : ゲーム
07 : ニュース (クリアボイスIII)

Acknowledgement

[y][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

14. ミュート (コマンド : k e)
サウンドをミュート/ミュート解除します。

Transmission

[k][e][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00 : ミュート
01 : ミュート解除

Acknowledgement

[e][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

15. 音量コントロール (コマンド : k f)
再生音量を調整します。

Transmission

[k][f][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : 音量0~100

Acknowledgement

[f][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

16. 時刻1 (年/月/日) (コマンド : f a)
時刻1 (年/月/日) の値を設定するか、自動時刻を設定します。

Transmission

1. [f][a][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][Cr]

2. [f][a][][Set ID][][0][0][][Data1][][Cr]

1. 時刻1 (年/月/日) の設定

データ1 04~1B : 2014~2037年

データ2 01~0C : 1~12月

データ3 01~1F : 1~31日

* 「fa [セットID] ff」を入力すると、時刻1 (年/月/日) の設定が表示されます。

2. 自動時刻の設定

データ1 00 : 自動

01 : 手動

* 自動時刻の設定値を表示するには、
「fa [セットID] 00 ff」を入力します。

Acknowledgement

1. [a][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

[Data3][x]

2. [a][][Set ID][][OK/NG][0][0][Data1][x]

17. 時刻2 (時/分/秒) (コマンド : f x)
時刻2 (時/分/秒) の値を調整します。

Transmission

[f][x][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][Cr]

データ1 00~17 : 00~23時

データ2 00~3B : 00~59分

データ3 00~3B : 00~59秒

* 「fx [セットID] ff」を入力すると、時刻2 (時/分/秒) の設定が表示されます。

** この機能は、時刻1 (年/月/日) が設定されている場合にのみ使用できます。

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

[x]

18. オフ時刻スケジュール (コマンド : f c)
オフ時刻スケジュールを有効/無効にします。

Transmission

[f][c][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00 : オフ

01 : オン

Acknowledgement

[c][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

19. オン時刻スケジュール (コマンド : f b)
オン時刻スケジュールを有効/無効にします。

Transmission

[f][b][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00 : オフ

01 : オン

Acknowledgement

[b][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

20. オフタイマー（繰り返し/時刻）（コマンド：fe）
オフタイマー（繰り返し/時刻）設定を構成します。

Transmission

[f][e][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]
[Cr]

データ1

1. f1h~f7h（データの読み取り）

F1：1番目のオフタイマーデータを読み取る

F2：2番目のオフタイマーデータを読み取る

F3：3番目のオフタイマーデータを読み取る

F4：4番目のオフタイマーデータを読み取る

F5：5番目のオフタイマーデータを読み取る

F6：6番目のオフタイマーデータを読み取る

F7：7番目のオフタイマーデータを読み取る

2. e1h~e7h（1つのインデックスを削除）、e0h（すべてのインデックスを削除）

E0：すべてのオフタイマー設定を消去

E1：1番目のオフタイマー設定を消去

E2：2番目のオフタイマー設定を消去

E3：3番目のオフタイマー設定を消去

E4：4番目のオフタイマー設定を消去

E5：5番目のオフタイマー設定を消去

E6：6番目のオフタイマー設定を消去

E7：7番目のオフタイマー設定を消去

3. 01h~0Ch（オフタイマーの曜日を設定）

01：1回

02：毎日

03：月曜～金曜日

04：月曜～土曜日

05：土曜～日曜日

06：毎週日曜日

07：毎週月曜日

08：毎週火曜日

09：毎週水曜日

0A：毎週木曜日

0B：毎週金曜日

0C：毎週土曜日

データ2 00~17：00~23時間

データ3 00~3B：00~59分

* オフ時刻スケジュールリストを読み取る、または削除するには、[データ2][データ3]をFFHに設定する必要があります。

例1：fe 01 f1 ff ff - オフタイマーの1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2：fe 01 e1 ff ff - オフタイマーの1番目のインデックスデータを削除します。

例3：fe 01 04 02 03 - オフタイマーを月曜～土曜日の02:03にセットします。

* この機能は、時刻1（年/月/日）と時刻2（時/分/秒）が設定されている場合にのみ使用可能です。

Acknowledgement

[e][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2]
[Data3][X]

21. オンタイマー（繰り返し/時刻）（コマンド：fd）
オンタイマー（繰り返し/時刻）設定を構成します。

Transmission

[f][d][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]
[Cr]

データ1

1. f1h~f7h（データの読み取り）

F1：1番目のオンタイマーデータを読み取る

F2：2番目のオンタイマーデータを読み取る

F3：3番目のオンタイマーデータを読み取る

F4：4番目のオンタイマーデータを読み取る

F5：5番目のオンタイマーデータを読み取る

F6：6番目のオンタイマーデータを読み取る

F7：7番目のオンタイマーデータを読み取る

2. e1h~e7h（1つのインデックスを削除）、e0h（すべてのインデックスを削除）

E0：すべてのオンタイマー設定を消去

E1：1番目のオンタイマー設定を消去

E2：2番目のオンタイマー設定を消去

E3：3番目のオンタイマー設定を消去

E4：4番目のオンタイマー設定を消去

E5：5番目のオンタイマー設定を消去

E6：6番目のオンタイマー設定を消去

E7：7番目のオンタイマー設定を消去

3. 01h~0Ch（オンタイマーの曜日を設定）

01：1回

02：毎日

03：月曜～金曜日

04：月曜～土曜日

05：土曜～日曜日

06：毎週日曜日

07：毎週月曜日

08：毎週火曜日

09：毎週水曜日

0A：毎週木曜日

0B：毎週金曜日

0C：毎週土曜日

データ2 00~17：00~23時間

データ3 00~3B：00~59分

* オン時刻スケジュールリストを読み取る、または削除するには、[データ2][データ3]をFFに設定する必要があります。

例1：fd 01 f1 ff ff - オンタイマーの1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2：fd 01 e1 ff ff - オンタイマーの1番目のインデックスデータを削除します。

例3：fd 01 04 02 03 - オンタイマーを月曜～土曜日の02:03にセットします。

* この機能は、時刻1（年/月/日）と時刻2（時/分/秒）が設定されている場合にのみ使用可能です。

** 22の値の場合にのみ、この機能は正常に動作します。
オンタイマー入力

Acknowledgement

[d][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2]
[Data3][X]

22. オンタイマー入力（コマンド：f u）

現在のオン時刻設定用に外部入力を選択し、新しいスケジュールを追加します。

Transmission

[f][u][][Set ID][][Data1][Cr]

[f][u][][Set ID][][Data1][Data2][Cr]

データ（スケジュールを追加）

40：コンポーネント

60：RGB

70：DVI-D

A0：HDMI1

A1：HDMI2/OPS

A2：OPS/HDMI3/DVI-D

A5：OPS/DVI-D

A6：HDMI3/DVI-D

D0：DISPLAYPORT

データ1（スケジュールを読み取る）

1. f1h～f7h（データを読み取る）

F1：1番目のスケジュール入力を選択

F2：2番目のスケジュール入力を選択

F3：3番目のスケジュール入力を選択

F4：4番目のスケジュール入力を選択

F5：5番目のスケジュール入力を選択

F6：6番目のスケジュール入力を選択

F7：7番目のスケジュール入力を選択

データ2（スケジュールを読み取る）

FF

* スケジュール入力を読み取るには、[データ2]にFFと入力します。

スケジュールデータを読み取ろうとしたときに、[データ1]のスケジュールがない場合は、テキスト「NG」が表示され、操作が失敗します。

（例1：fu 01 90 - 各スケジュール入力を1行ずつ下げ、1番目のスケジュール入力をHDMIモードで保存します。）

（例2：fu 01 f1 ff - 1番目のスケジュール入力を読み取ります。）

* この機能は、1（年/月/日）、2（時/分/秒）、オン時刻（繰り返しモード/時刻）が設定されている場合にのみサポートされています。

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

** DTV入力モードでは、入力がPCモードに切り替えられます。

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

[u][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][x]

23. 信号がなければ電源をオフ（15分）（コマンド：f g）
15分間信号がない場合にモニターが自動スタンバイモードに移行します。

Transmission

[f][g][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：オフ

01：オン

Acknowledgement

[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

24. 自動電源オフ（4時間）（コマンド：m n）

モニターを4時間後に自動電源オフするよう設定します。

Transmission

[m][n][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：オフ

01：4時間

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

25. 言語（コマンド：f i）

OSD言語を設定します。

Transmission

[f][i][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：チェコ語

01：デンマーク語

02：ドイツ語

03：英語

04：スペイン語（欧州）

05：ギリシャ語

06：フランス語

07：イタリア語

08：オランダ語

09：ノルウェー語

0A：ポルトガル語

0B：ポルトガル語（ブラジル）

0C：ロシア語

0D：フィンランド語

0E：スウェーデン語

0F：韓国語

10：中国語（普通話）

11：日本語

12：中国語（広東語）

Acknowledgement

[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

26. 初期化 (コマンド : f k)

リセット機能を実行します。

画面のリセットは、RGB入力モードでのみ実行可能です。

Transmission

[f][k][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00 : 映像初期化
01 : 画面リセット
02 : 初期設定

Acknowledgement

[k][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

27. 現在の温度 (コマンド : d n)

内部温度を確認します。

Transmission

[d][n][][Set ID][][Data][Cr]

データ FF : ステータスを確認

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* 温度は16進数値として表示されます。

28. キー (コマンド : m c)

IRリモートキーコードを送信します。

Transmission

[m][c][][Set ID][][Data][Cr]

データ IR_KEY_CODE

Acknowledgement

[c][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

キーコードについては、「IRコード」を参照してください。

* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

29. 経過時間 (コマンド : d l)

経過時間を確認します。

Transmission

[d][l][][Set ID][][Data][Cr]

データ FF : ステータスを読み取る

Acknowledgement

[l][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* 受信データは16進数値として表示されます。

30. 製品シリアル番号 (コマンド : f y)

製品のシリアル番号を確認します。

Transmission

[f][y][][Set ID][][Data][Cr]

データ FF : 製品シリアル番号を確認

Acknowledgement

[y][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* データはASCIIコードです。

31. ソフトウェアバージョン (コマンド : f z)

製品のソフトウェアバージョンを確認します。

Transmission

[f][z][][Set ID][][Data][Cr]

データ FF : ソフトウェアバージョンを確認

Acknowledgement

[z][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

32. ホワイトバランス赤ゲイン (コマンド: j m)
ホワイトバランス赤ゲインの値を調整します。

Transmission
[j][m][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FE: 赤ゲイン0~254
FF: 赤ゲインの値を確認

Acknowledgement
[m][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

33. ホワイトバランス緑ゲイン (コマンド: j n)
ホワイトバランス緑ゲインの値を調整します。

Transmission
[j][n][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FE: 緑ゲイン0~254
FF: 緑ゲインの値を確認

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

34. ホワイトバランス青ゲイン (コマンド: j o)
ホワイトバランス青ゲインの値を調整します。

Transmission
[j][o][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FE: 青ゲイン0~254
FF: 青ゲインの値を調整します。

Acknowledgement
[o][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

35. ホワイトバランス赤オフセット (コマンド: s x)
ホワイトバランス赤オフセットの値を調整します。

Transmission
[s][x][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~7F: 赤オフセット0~127
FF: 赤オフセットの値を確認

Acknowledgement
[x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

36. ホワイトバランス緑オフセット (コマンド: s y)
ホワイトバランス緑オフセットの値を調整します。

Transmission
[s][y][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~7F: 緑オフセット0~127
FF: 緑オフセットの値を確認

Acknowledgement
[y][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

37. ホワイトバランス青オフセット (コマンド: s z)
ホワイトバランス青オフセットの値を調整します。

Transmission
[s][z][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~7F: 青オフセット0~127
FF: 青オフセットの値を確認

Acknowledgement
[z][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

38. バックライト（コマンド：m g）
バックライトの明るさを調整します。

Transmission
[m][g][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64：バックライト0~100

Acknowledgement
[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

39. 映像オフ（コマンド：k d）
映像のオンとオフを切り替えます。

Transmission
[k][d][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：映像をオンにする

01：映像をオフにする

Acknowledgement
[d][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

40. タイルモード（コマンド：d d）
タイルモードを設定し、タイルの行と列の値を設定します。

Transmission
[d][d][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FF：1番目のバイト - タイルの列
2番目のバイト - タイルの行

* 00、01、10、11はタイルモードがオフであることを意味しています。

** モデルによって最大値は異なります。

Acknowledgement
[d][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

41. タイルモードの確認（コマンド：d z）
タイルモードを確認します。

Transmission
[d][z][][Set ID][][Data][Cr]

データ FF：タイルモードを確認

Acknowledgement
[z][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[x]

データ1 00：タイルモードオフ

01：タイルモードオン

データ2 00~0F：タイルの列

データ3 00~0F：タイルの行

42. タイルID（コマンド：d i）
製品のタイルID値を設定します。

Transmission
[d][i][][Set ID][][Data][Cr]

データ 01~E1：タイルID 01~225**

FF：タイルIDを確認

** データ値は行 x 列の値を超えることはできません。

Acknowledgement
[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* 行 x 列の値を超えるデータ値が入力されると（0xFFを除く）、
ACKはNGになります。

43. ナチュラルモード（タイルモード時）（コマンド：d j）

映像を自然に表示するときに、モニター間の隙間に通常は表示される映像の部分が省略されます。

Transmission
[d][j][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：オフ

01：オン

Acknowledgement
[j][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

44. DPM選択 (コマンド: f j)

DPM (ディスプレイ電源管理) 機能を設定します。

Transmission

[f][j][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ
 01: 5秒
 02: 10秒
 03: 15秒
 04: 1分
 05: 3分
 06: 5分
 07: 10分

Acknowledgement

[j][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

45. リモコン/ローカルキーロック (コマンド: k m)

リモコン/ローカルキー (前面) ロックを調整します。

Transmission

[k][m][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ (ロックオフ)
 01: オン (ロックオン)

* モニターがオフの場合は、オン (01) モードでも電源キーが機能します。

Acknowledgement

[m][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

46. 電源オンディレイ (コマンド: f h)

電源をオンにしたときの遅延時間を設定します (単位: 秒)。

Transmission

[f][h][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FA: 最小0~最大250 (秒)

* モデルによって最大値は異なります。

Acknowledgement

[h][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

47. フェイルオーバー選択 (コマンド: m i)

自動切り替えの入力モードを選択します。

Transmission

[m][i][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ
 01: 自動
 02: 手動

Acknowledgement

[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

48. フェイルオーバー入力選択 (コマンド: m j)

自動切り替えの入力元を選択します。

* このコマンドは、フェイルオーバー (自動) モードが[Custom (カスタム)]に設定されている場合にのみ使用できます。

Transmission

[m][j][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][][Data4]...[][DataN][Cr]

データ 1~N-1 (入力優先順位: 1~N-1)

40: コンポーネント
 60: RGB
 70: DVI-D
 90: HDMI1
 91: HDMI2/OPS
 92: OPS/HDMI3/DVI-D
 95: OPS/DVI-D
 96: HDMI3/DVI-D
 C0: DISPLAYPORT

データN: E0: 内蔵メモリー
 E1: USB
 E2: SDカード

Acknowledgement

[j][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][Data4]...[DataN][x]

データ 1~N-1 (入力優先順位: 1~N-1)

40: コンポーネント
 60: RGB
 70: DVI-D
 90: HDMI1
 91: HDMI2/OPS
 92: OPS/HDMI3/DVI-D
 95: OPS/DVI-D
 96: HDMI3/DVI-D
 C0: DISPLAYPORT

データN: E0: 内蔵メモリー
 E1: USB
 E2: SDカード

* モデルによっては一部の入力信号が使用できないことがあります。

** モデルによってデータ番号 (N) は異なります。(データ番号はサポートされている入力信号数によって異なります。)

*** 最終データには、E0、E1、またはE2のみ使用可能です。

49. IRの操作 (コマンド: t p)

製品のIRの操作を設定します。

Transmission

[t][p][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: すべてのキーをロック解除

01: 電源キーを除くすべてのキーをロック

02: すべてのキーをロック

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モニターの電源がオフになっていて、すべてのキーをロック (02) モードになっていても、電源キーは機能します。

50. ローカルキーの操作 (コマンド: t o)

製品のローカルキーの操作を設定します。

Transmission

[t][o][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: すべてのキーをロック解除

01: 電源キーを除くすべてのキーをロック

02: すべてのキーをロック

Acknowledgement

[o][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モニターの電源がオフになっていて、すべてのキーをロック (02) モードになっていても、電源キーは機能します。

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

51. ステータス (コマンド: s v)

製品の現在の信号状態を確認します。

Transmission

[s][v][][Set ID][][Data][][FF][Cr]

データ 02: 信号の有無を確認

03: PMモードを確認

10: RGBの感知、OK/NG (画面の確認)

Acknowledgement

[v][][Set ID][][OK/NG][Data][Data1][x]

データ: 02 (信号が検出された場合)

データ1 00: 信号なし

01: 信号あり

データ: 03 (PMモード確認時)

データ1 00: PMモードを映像オンに設定

01: PMモードを映像オフに設定

02: PMモードを常に映像オフに設定

データ: 10 (画面の確認)

データ1 00: 画面の確認結果がNG

07: 画面の確認結果がOK

* 画面の確認がオフに設定されていたり、サポートされていない場合またはNGに設定します。

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

52. 画面の確認 (コマンド: t z)

画面の確認を設定します。

Transmission

[t][z][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ

01: オン

Acknowledgement

[z][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

53. スピーカー (コマンド: d v)

スピーカー機能を設定します。

Transmission

[d][v][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ

01: オン

Acknowledgement

[v][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

54. サーマタイム (コマンド: s d)

サーマタイム機能を設定します。

Transmission

[s][d][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][][Data4][][Data5][Cr]

データ 00: オフ (Data2~5: FFH)

01: 開始時刻

02: 終了時刻

データ2 01~0C: 1~12月

データ3 01~06: 第1週~第6週

* [データ3]の最大数は日付によって異なります。

データ4 00~06 (日曜~土曜)

データ5 00~17: 00~23時間

* 開始時刻と終了時刻を読み取るには、[データ2]~[データ5]のFFHを入力してください。

(例1: sd 01 01 ff ff ff ff - 開始時刻を確認)

例2: sd 01 02 ff ff ff ff - 終了時刻を確認)

* この機能は、時刻1 (年/月/日) および時刻2 (時/分/秒) が設定されている場合にのみサポートされます。

Acknowledgement

[d][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][Data4][Data5][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

55. PMモード (コマンド : s n, 0c)
お好みのPMモードオプションを選択します。

Transmission

[s][n][][Set ID][][0c][][Data][Cr]

データ 00 : 電源オフモードに設定
01 : 画面サイズを保持モードに設定
02 : 映像オフモードに設定
03 : 常に映像オフモードに設定

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][0c][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

56. ISMモード (コマンド : j p)
ISMモードオプションを選択します。

Transmission

[j][p][][Set ID][][Data][Cr]

データ 01 : 反転
02 : 周回機
04 : ホワイトウォッシュ
08 : ノーマル
20 : カラーウォッシュ
80 : ウォッシングバー
90 : ユーザー画像
91 : ユーザー動画

** タイマーが即時に設定されている場合、jpコマンドは機能します。

Acknowledgement

[p][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

57. ネットワーク設定 (コマンド : s n, 80または81または82)

ネットワークとDNSの設定を行います。

Transmission

[s][n][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][][Data4][][Data5][Cr]

データ180 : 一時IPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを設定/表示
81 : 一時DNSアドレスを設定/表示
82 : 現在のネットワークの一時設定と表示を保存

* データ1が80の場合、
データ200 : 自動
01 : 手動
FF : 一時IPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを表示

** データ2が01 (手動) の場合、
データ3 : 手動IPアドレス
データ4 : サブネットマスクアドレス
データ5 : ゲートウェイアドレス

* データ1が81の場合、
データ2 : DNSアドレス
FF : 一時DNSアドレスを表示

* データ1が82の場合、
データ280 : 一時的に保存されたIPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを適用
81 : 一時DNSアドレスを適用
FF : 現在のネットワーク情報 (IP、サブネットゲートウェイ、DNS)

*** 設定例

1. 自動 : sn 01 80 00
2. 手動 : sn 01 80 01 010177223241
255255254000 010177222001
(IP : 10.177.223.241、サブネット : 255.255.254.0、ゲートウェイ : 10.177.222.1)
3. ネットワーク読み取り : sn 01 80 ff
4. DNS設定 : sn 01 81 156147035018
(DNS : 156.147.35.18)
5. 設定の適用 : sn 01 82 80 (保存されたIPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを適用) sn 01 82 81 (保存されたDSNを適用)

**** 各IPアドレスは12進数で構成されます。

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

** この機能は有線ネットワークでのみ使用できます。

58. 自動調整 (コマンド : j u)

自動的に映像の位置と揺れを修正します (RGB - PC入力モードでのみ動作します)。

Transmission

[j][u][][Set ID][][Data][Cr]

データ 01 : 実行

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

59. 水平位置 (コマンド : f q)

画面の水平位置を調整します。この機能は、タイトルモードがオフに設定されている場合にのみ有効です。

* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります (RGB - PC入力モードでのみ動作します)。

Transmission

[f][q][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64 : 最小50 (左) ~最大50 (右)

Acknowledgement

[q][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

60. 垂直位置 (コマンド: f r)

画面の垂直位置を調整します。この機能は、タイルモードがオフに設定されている場合にのみ有効です。

* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります (RGB-PC入力モードでのみ動作します)。

Transmission

[f][r][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64: 最小50 (下) ~最大50 (上)

Acknowledgement

[r][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

61. 水平サイズ (コマンド: f s)

画面の水平サイズを調整します。この機能は、タイルモードがオフに設定されている場合にのみ有効です。

* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります (RGB-PC入力モードでのみ動作します)。

Transmission

[f][s][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64: 最小50 (小) ~最大50 (大)

Acknowledgement

[s][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

62. 電源オンスステータス (コマンド: t r)

お好みの電源オンスステータスオプションを選択します。

Transmission

[t][r][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: LST (前のステータスを保持)
01: STD (電源オフを保持)
02: PWR (電源オンを保持)

Acknowledgement

[r][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

63. LANで起動 (コマンド: f w)

お好みのLANで起動オプションを選択します。

Transmission

[f][w][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ

01: オン

Acknowledgement

[w][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

64. インテリジェントオート (コマンド: t i)

お好みのインテリジェントオートオプションを選択します。

Transmission

[t][i][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ

01: オン

Acknowledgement

[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

65. OSDポートレートモード (コマンド: t h)

お好みのポートレートモードオプションを選択します。

Transmission

[t][h][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ

01: 90度

02: 270度

Acknowledgement

[h][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

66. 初期化 (コマンド: t n)

初期化設定を有効化/無効化します。

Transmission
[t][n][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: 設定を無効化
01: 設定を有効化

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

67. 時刻同期 (コマンド: s n, 16)

時刻同期を設定します。

Transmission
[s][n][][Set ID][][1][6][][Data][Cr]

データ 00: オフ
01: オン

* この機能はマスターモードで動作します。

** この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][][1][6][][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

68. コンテンツ同期 (コマンド: t g)

コンテンツ同期を設定します。

Transmission
[t][g][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ
01: オン

Acknowledgement
[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

69. ビットモード (コマンド: t a)

[ビットモード]のオン/オフを切り替えます。

Transmission
[t][a][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: オフ
01: オン

Acknowledgement
[a][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

70. スタジオモード (コマンド: s n, 83)

[スタジオモード]のオン/オフを切り替えます。

Transmission
[s][n][][Set ID][][8][3][][Data][Cr]

データ 00: オフ
01: オン

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][8][3][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

71. LANデジチェーン (コマンド: s n, 84)

[LANデジチェーン]のオン/オフを切り替えます。

Transmission
[s][n][][Set ID][][8][4][][Data][Cr]

データ 00: オフ
01: オン

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][8][4][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

72. コンテンツの回転 (コマンド: s n, 85)

[コンテンツの回転]のオン/オフを切り替えます。

Transmission
[s][n][][Set ID][][8][5][][Data][Cr]

データ 00: オフ
01: 90度
02: 270度
03: 180度

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][8][5][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

73. DPMウェイクアップ制御（コマンド：s n、0b）
[DPMウェイクアップ制御モード]を設定します。

Transmission

[s][n][][Set ID][][0][b][][Data][Cr]

データ 00：クロック
01：クロック + データ

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][0][b][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

74. スキャン反転（コマンド：s n、87）
[スキャン反転]のオン/オフを切り替えます。

Transmission

[s][n][][Set ID][][8][7][][Data][Cr]

データ 00：オフ
01：オン

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][8][7][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

75. ビーコン（コマンド：s n、88）
[ビーコン]のオン/オフを切り替えます。

Transmission

[s][n][][Set ID][][8][4][][Data][Cr]

データ 00：オフ
01：オン

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][8][4][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

76. 画面サイズ（回転）（コマンド：s n、89）
[画面サイズ（回転）]画面を制御します。
（このコマンドは、[コンテンツの回転]がオンのときのみ有効です。）

Transmission

[s][n][][Set ID][][8][9][][Data][Cr]

データ 00：フル
01：プログラム

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][8][9][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

77. かんたん明るさコントロールモード（コマンド：s m）

[かんたん明るさコントロールモード]のオン/オフを切り替えます。

Transmission

[s][m][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00：[かんたん明るさコントロール]オフ
01：[かんたん明るさコントロール]オン

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

** モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[m][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

78. かんたん明るさコントロールスケジュール (コマンド: s s)

[かんたん明るさコントロールのスケジュール]を設定します。

```
Transmission
[s][s][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3]
[Cr]
```

データ1

1. F1 - F6 (データ読み取り)

F1: 1番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F2: 2番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F3: 3番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F4: 4番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F5: 5番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F6: 6番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

2. FF: 保存されているすべてのリストを読み取り

3. e1 - e6 (インデックス1個を削除)、e0 (すべてのインデックスを削除)

E0: すべての[かんたん明るさコントロール]を削除します。

E1: 1番目の[かんたん明るさコントロール]を削除します。

E2: 2番目の[かんたん明るさコントロール]を削除します。

E3: 3番目の[かんたん明るさコントロール]を削除します。

E4: 4番目の[かんたん明るさコントロール]を削除します。

E5: 5番目の[かんたん明るさコントロール]を削除します。

E6: 6番目の[かんたん明るさコントロール]を削除します。

4. 00~17: 00時~23時

データ2 00~3B: 00~59分

データ3 00~64: バックライト0~100

* 設定済みの[かんたん明るさコントロール]リストを読み取るか削除したい場合は、[Data2][Data3]をFFに設定してください。

* 設定済みの[かんたん明るさコントロール]リストのすべてをFFでインポートしたい場合は、[Data2][Data3]に値を入力しないでください。

* すべての設定済み[かんたん明るさコントロール]リストがFFでインポートされると、保存リストが何もない場合でも[OK]がアクノリッジされます。

例1: ss 01 f1 ff ff - [かんたん明るさコントロール]の1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2: ss 01 ff - [かんたん明るさコントロール]のすべてのインデックスデータを読み取ります。

例3: ss 01 e1 ff ff - [かんたん明るさコントロール]の1番目のインデックスデータを削除します。

例4: ss 01 07 1E 46 - 時刻が07:30でバックライトが70のスケジュールを追加します。

```
Acknowledgement
[s][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3]
[x]
```

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

79. マルチ画面モードおよび入力(コマンド: x c)

MultiScreen Mode and input (マルチ画面モードおよび入力)を保存または制御します。

```
Transmission
[x][c][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3][ ][Data4]
[ ][Data5][Cr]
```

データ1マルチ画面モードを設定します。

10: PIP

22: PBP2

23: PBP3

24: PBP4

データ2 (MultiScreen (マルチ画面) のMain入力を設定します。)

データ3 (MultiScreen (マルチ画面) のSub1入力を設定します。)

データ4 (MultiScreen (マルチ画面) のSub2入力を設定します。)

データ5 (MultiScreen (マルチ画面) のSub3入力を設定します。)

20: AV

40: コンポーネント

60: RGB

80: DVI-D

90: HDMI1

91: HDMI2/OPS

92: OPS/HDMI3/DVI-D

95: OPS/DVI-D

96: HDMI3/DVI-D

C0: DISPLAYPORT

```
Acknowledgement
```

```
[c][ ][Set ID][ ][OK/NG][ ][Data1][Data2]
```

```
[Data3]
```

```
[Data4][Data5][x]
```

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

** そのモデルがサポートしている入力モードのみが動作します。

80. 画面サイズ (マルチ画面) (コマンド: x d)

画面サイズ (マルチ画面) 画面を保存または制御します。

```
Transmission
[x][d][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][Cr]
```

データ1 01: Main入力を制御します。

02: Sub1入力を制御します。

03: Sub2入力を制御します。

04: Sub3入力を制御します。

データ2 00: フル

01: オリジナル

```
Acknowledgement
```

```
[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][x]
```

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

81. 画面ミュート（マルチ画面）（コマンド：x e）
マルチ画面の各画面のオン/オフを切り替えます。

Transmission

[x][e][][Set ID][][Data1][][Data2][Cr]

データ1 01：Main入力を制御します。
02：Sub1入力を制御します。
03：Sub2入力を制御します。
04：Sub3入力を制御します。

データ2 00：映像をオンにします。
01：映像をオフにします。

* この機能は、Multi Screen（マルチ画面）アプリの実行中に動作します。

** 信号がない場合、この機能は正常に動作しないことがあります。

Acknowledgement

[e][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

82. 常に映像オフ（コマンド：s n, 0d）

常に映像オフは、PMモードの設定に関係なく、[映像オフ]メニューに移動するのと同じ効果があります。

Transmission

[s][n][][Set ID][][0][d][][Data][Cr]

データ 00：しない
01：する

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][0][d][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

83. 画面の映像を固定（コマンド：k x）

映像固定機能のオン/オフを切り替えます。

Transmission

[k][x][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：固定機能をオンにします。
01：固定機能をオフにします。

* シングル入力モードで利用可能です。

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

84. ワイヤレスLANで起動（コマンド：s n, 90）
ワイヤレスLANからの起動を設定します。

Transmission

[s][n][][Set ID][][9][0][][Data][Cr]

データ 00：しない
01：する

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][9][0][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

85. OSDディスプレイ（コマンド：k l）

目的のOSDディスプレイオプションを選択します。

Transmission

[k][l][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：しない（オフ）
01：する（オン）

Acknowledgement

[l][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされない場合があります。

86. UPnPモード（コマンド：s n, 9c）

目的のUPnPモードを設定します。

Transmission

[s][n][][Set ID][][9][c][][Data][Cr]

データ 00：オフ
01：オン

Acknowledgment

[n][][Set ID][][OK/NG][9][c][Data][x]

* モデルによっては、この機能はサポートされない場合があります。

* UPnPモードが変更されると、再起動が開始されます。

